

'24ホタル観察会のご案内

ホタルは四季を彩る風物詩として古くから愛され、人の心に郷愁と愛着を感じてきました。昔はいろんな所にいたけれど、今は、「箕島ふれあいの里」付近が、妹尾・箕島地区で、唯一生息地として残っています。数は少ないですが今年も姿を見せてくれると思います。身近な我が郷土のホタルを、お子様・お孫様と一緒に観察してみませんか。



(箕島ふれあいの里)



(ホタル飛翔写真)

 **場 所**：箕島ふれあいの里 (小学校北300M・下池下)

 **見 頃**：例年5月中旬～下旬 **20：30前後の時間帯**

 **観察ご案内とマナー**

- ふれあいの里には駐車場はありません。箕島小学校P.に駐車ご了解いただいておりますが、数に限りがある日もありますので出来るだけ徒歩でお出で下さい。
- ホタルは人口の光が苦手です。**懐中電灯・カメラのフラッシュは使用しないで下さい。**
- 捕まえない・持ち帰らないで！翌年見れなくなります。静かに観察願います。**
- 暗い所ですので、足元に注意され怪我のないよう、各自の責任で観察下さい。

箕島ふれあいの里 ホタルを守る会



「三ツ池に生息する生きもの 2024・5現在」について

調査報告者

ホタルを守る会 代表 畑
協力 野鳥観察者 代表 小野氏
協力 釣り人 代表 柳谷氏

別紙「三ツ池に生息する生きもの」は、2003年3月に地域用水環境整備事業時の主な生きものの状況だとされている。

10年程前より、ホタルを守る会（竹田会）の遊歩道清掃・観察など活動時、野鳥観察者の日頃の観察から、釣り人の釣り状況などの情報をまとめ、下記のとおり現況を報告いたします。

記

1. 2003年時の生きものは増減はあるものの記載のとおり生息している。
2. 直近10年間に増減した生物はほぼ下記のとおりと観察している。

●水鳥動物（2003年の一覧表より増えたもの）

1. カワセミ

下池を中心に三ツ池で少数だが、年間を通して人気で観察されている。

2. オオバン（冬鳥）

下池で約20～25羽観察

3. 小ガモ（冬鳥）

4. 川ウ

この冬は特に増えて約100羽活発に捕食して、池西の樹木が真っ白になるくらい糞をして甚だ美観を損ねている。

●魚類他（増減したもの）

1. アリゲーターガー

2年程前から誰かが放流したと思われ、釣り人が複数確認。確認は単体でその後増えているかは不明。

3. 亀類

（1）雷魚（以前も少数いたかも）

（2）ミドリガメ（アカミミガメ）が大量に発生している。

（3）反面、ニホンイシガメ、クサガメはほとんど見られない。

（4）スッポンは少数だがいる

4. ヘイケボタルとカワニナ

毎年、10匹前後確認されていたが6年前に絶滅した。

要因は池岸で見られたカワニナが、亀・魚に食べられたと思われ見られなくなった。

4. 食用ガエル・カラス貝は昔から沢山いたが今は少数。

三ツ池に生息する 生きもの

水鳥動物



オナガガモ(冬鳥)



ユリカモメ(冬鳥)



アオサギ



カイツブリ

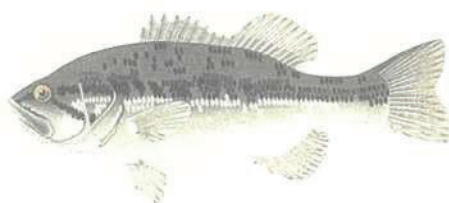
魚



コイ



ナマズ



オオクチバス(ブラックバス)



ブルーギル



ウナギ



スジエビ

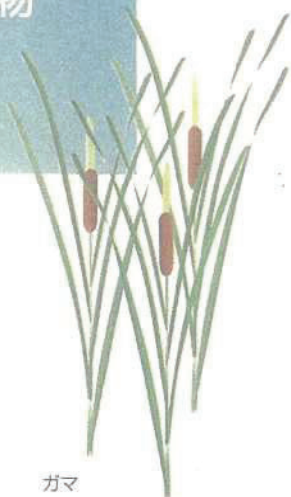


ギンブナ



アメリカザリガニ

植物



ガマ



ヨシ



ヒシ



4月

桜

藤

花水木/つつじ

5月

6月

7月

8月

9月

箕島ふれあいの里 花ごよみ

ノーゼンカズラ

ミソハギ

アジサイ

ポーチュラカ

コスモス

スイレン

パンジー

10月

11月

12月

1月

2月

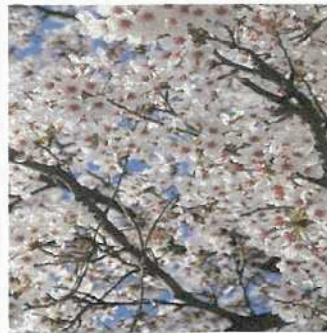
3月

スイレン

コスモス・キバナコスモス

パンジー

河津桜



桜 水仙



パンジー



花水木



藤



つつじ



スイレン



ノーゼンカズラ



ミソハギ



アジサイ



ポーチュラカ



コスモス



河津桜

赤字：新規

箕島ふれあいの里ホテルを守る会 2024・3 現在